

## グリーントイム

具体的内容	<p><b>【概要】</b> 総合的な学習の時間での授業（グリーントイム 65時間） ア 愛林少年団活動 「愛林・愛鳥の学校」であることを意識し、自然を愛し、はぐくみ育てる姿勢を養う イ 林内学習 野幌原始林へ入り、自ら学んだり調べたりする態度を育てる</p> <p><b>【実績】</b>（過去3年間） ・江別市青少年善行賞（平成16年） ・札幌方面交通安全協会会長賞（平成17年） ・林野庁遊々の森事業により、原始林内に学校林指定</p> <p><b>【取り組み始めたきっかけ・活動を始めるまでの足跡】</b> ・原始林との共存を目指し、守っていこうという開拓当時から地元、保護者の思いから昭和45年愛林少年団を結成 ・学校の特色を生かした教育活動展開のため、原始林を利用した活動を教育課程に位置づけた</p> <p><b>【活動・取組の特徴】</b> ア 愛林少年団～全校でのタテ割り班活動 栽培活動、森林ボランティア、原始林スクール（キャンプ）、冬のバードテーブルでの餌やり イ 林内学習～学年、ブロックでの活動 森の日 春・植樹、樹木・植物の観察 秋・苗床への播種、樹木の成長しらべ、樹木・植物の観察 学年ブロックのテーマ</p>		
	期待できる効果 （自己評価）	五感や創造性を高める 協調性や社会性を育む 運動能力の発達を促す 生命と自分とのつながりに気づく その他（ ）	森や木に関する知識をつける・高める 森や木を通じた地域の活性化を図る 木の文化や技術を伝える・つくる つくり手・買い手・使い手をつなぐ その他（ ）
取組主体	企画者または主催者名	江別市立野幌小学校	
	参加者（参集範囲）	乳幼児 / 未就学児童 / <input type="checkbox"/> 小・中学生 大人（高校生以上） / 高齢者 / その他（ ）	
参加者の募集	あ る / <input type="checkbox"/> な し		
HPアドレス・連絡先（担当者）	江別市立野幌小学校 津山 功一 TEL : 011-382-2151 FAX : 011-382-2152 E-mail : nopporo-es@ed.city.ebetsu.hokkaido.jp URL : http://www.ebetsu-city.ed.jp/nopporo-s/		

## 森の観察会

具体的内容	<p><b>【概要】</b> 本校5、6年児童と、酪農学園大学学生がテーマごとにグループを構成し、それぞれの視点から森の動植物を観察する</p> <p><b>【実績】</b> 平成16年度より実施</p> <p><b>【取り組み始めたきっかけ・活動が始めるまでの足跡】</b> 学芸員になる勉強をしている酪農学園大学学生の課程の一部として、また、本校児童の日頃は取り組めない視点からの学習の場として、大学教授より開催の打診を受け、連絡調整をしながら実施している（本年度3年目、年間1回実施）</p> <p><b>【活動・取組の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマごとに大学生1名を中心としたグループ学習を行う</li> <li>・実際のものを見て学習できるように小動物の捕獲、観察を試みる</li> </ul>		
期待できる効果 (自己評価)	五感や創造性を高める		森や木に関する知識をつける・高める
	協調性や社会性を育む		森や木を通じた地域の活性化を図る
	運動能力の発達を促す		木の文化や技術を伝える・つくる
	生命と自分とのつながりに気づく		つくり手・買い手・使い手をつなぐ
	その他( )		その他( )
取組主体	企画者または主催者名	江別市立野幌小学校	
	参加者(参集範囲)	乳幼児 / 未就学児童 / <input type="checkbox"/> 小・中学生 <input type="checkbox"/> 大人(高校生以上) / 高齢者 / その他( )	
参加者の募集	あ る / <input type="checkbox"/> な し		
HPアドレス・連絡先(担当者)	江別市立野幌小学校 津山 功一 TEL : 011-382-2151 FAX : 011-382-2152 E-mail : nopporo-es@ed.city.ebetsu.hokkaido.jp URL : http://www.ebetsu-city.ed.jp/nopporo-s/		

原始林ウォーク			
具体的内容	<p><b>【概要】</b> 江別市体験活動・ボランティア活動支援センター事業「地域間交流」の一つとして7月、10月の2回実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月は原始林内のハイキングと森の教室でのお話</li> <li>・10月は原始林内のハイキングに森の教室での落ち葉や木の実を利用した工作活動を行っている</li> </ul> <p><b>【実績】</b> 平成16年度より実施</p> <p><b>【取り組み始めたきっかけ・活動を始めるまでの足跡】</b> 江別市教育委員会生涯学習課が中心となり、江別市内の遠隔地にある本校を含む3校の児童、保護者の交流の場として事業が始まる。 各校が学校の特色を活かした体験、交流の内容を企画し、時節に合わせて参加者を募り、実施する</p> <p><b>【活動・取組の特徴】</b></p> <p>7月 原始林内ハイキング 森の教室でのお話（本校のみ）</p> <p>10月 原始林内ハイキング 森の教室での工作活動（3校交流）</p>		
	期待できる効果 （自己評価）	<p>五感や創造性を高める</p> <p>協調性や社会性を育む</p> <p>運動能力の発達を促す</p> <p>生命と自分とのつながりに気づく</p> <p>その他（ ）</p>	<p>森や木に関する知識をつける・高める</p> <p>森や木を通じた地域の活性化を図る</p> <p>木の文化や技術を伝える・つくる</p> <p>つくり手・買い手・使い手をつなぐ</p> <p>その他（ ）</p>
取組主体	企画者または主催者名	江別市立野幌小学校	
	参加者（参集範囲）	乳幼児 / 未就学児童 / <input type="checkbox"/> 小・中学生 <input type="checkbox"/> 大人（高校生以上） / 高齢者 / その他（ ）	
参加者の募集	<input type="checkbox"/> あ る / <input type="checkbox"/> な し 本校、文京台小、豊幌小児童、保護者に6月下旬～募集		
HPアドレス・連絡先（担当者）	江別市立野幌小学校 津山 功一 TEL : 011-382-2151 FAX : 011-382-2152 E-mail : nopporo-es@ed.city.ebetsu.hokkaido.jp URL : http://www.ebetsu-city.ed.jp/nopporo-s/		

## 里山の林業体験学習

具体的内容	<p><b>【概要】</b> 北広島市立緑陽中学校では、北広島市の起伏に富んだ地形と、森林そこに住むさまざまな動植物との共生を体験的に学ぶ場として、市役所、森づくりセンター、森林ボランティアの皆さんとの協働の中で、「里山の林業体験学習」を実施して、私有地への植林や市有林の枝切り、間伐等の施業体験を行っています。</p>		
	<p><b>【実績】</b> 5月・・・富ヶ岡市有地への植林・キノコ菌のサンドイッチ栽培床づくり 6、7月・・・植林した苗木付近の下刈り 9月・・・キノコ床の植え込み 10月・・・炭焼き材の間伐 11月・・・炭焼き、木のツルを利用したかんじき・リースづくり</p>		
	<p><b>【取り組み始めたきっかけ・活動を始めるまでの足跡】</b> 「地球規模で思考し、地域で活動できる生徒の育成」を目指す本校では、家庭・地域との連携・協働の中で、共通の目標、意思・活動、コミュニケーションを確立できる地域の教材化を求めています。 市が「市民の森」「元気の森」構想などを提起されたことをきっかけに、施業体験を通じて市有林の緑化事業に取り組むことにしました。</p>		
	<p><b>【活動・取組の特徴】</b> 連携と協働で実現する「里山の林業体験学習」という点に最大の特色があります。理論的な指導や助言は、森林再生等で専門的な知識を有しているグリーン・インストラクターに、また行政の支援としては、北海道水産林務部から「北海道の森林づくりガイド(教本)」の提供、石狩支庁石狩森づくりセンターからは林業体験の技術指導と機材の提供、市役所建設部都市整備課からは市有林の提供を受けています。 また、具体的な展開にあたっては、北広島市の森林ボランティア「メイプル」の皆様のご指導を受け、生徒、教職員、そして保護者や地域有志を巻き込んで、「元気の森」の再生に取り組んでいます。更に平成18年度は、文部科学省「キャリア教育実践プロジェクト」事業の指定、北広島市こどもインターンシップ事業の指定を受け、指導・助言もいただいています。</p>		
期待できる効果 (自己評価)	<p>五感や創造性を高める</p> <p>協調性や社会性を育む</p> <p>運動能力の発達を促す</p> <p>生命と自分とのつながりに気づく</p> <p>森が人と地球を元気にする機能に気づく</p>	<p>森や木に関する知識をつける・高める</p> <p>森や木を通じた地域の活性化を図る</p> <p>木の文化や技術を伝える・つくる</p> <p>つくり手・買い手・使い手をつなぐ</p> <p>その他( )</p>	
取組主体	企画者または主催者名	北広島市立緑陽中学校	
	参加者(参集範囲)	乳幼児 / 未就学児童 / <input type="checkbox"/> 小・中学生 大人(高校生以上) / 高齢者 / <input type="checkbox"/> その他(地域有志)	
参加者の募集	<input type="checkbox"/> ある / なし 森林ボランティアへの参加を、地域に向けて学校だより等を通じて募集を行うことがあります。		
HPアドレス・連絡先(担当者)	北広島市立緑陽中学校 Tel: 011-372-2239 Fax: 011-372-2412 E-mail: ryokuyout02@ed.city.kitahiroshima.hokkaido.jp URL: http://www.infosnow.ne.jp/ryokuyou/		

# 北広島市立緑陽中学校

## 「里山の林業体験学習」の様子

テープで間隔の印をつけて苗木を等間隔に植えていきます



いよいよ植栽開始



オガクズにキノコ菌を混ぜたものを丸太の断面に塗り付けます



秋には菌床の原木を土に埋め込みます



下刈り鎌の使い方の模範演技を見る生徒たち



メイプルのみなさんの指導をうけながら下刈り作業開始!



## 百万本の桜を育てる会植樹祭「環境緑化推進事業」

具体的内容	<p><b>【概要】</b> 百万本の桜を育てる会・喜茂別町国土緑化推進委員会が学校と連携し、町内の公共施設に町木である「エゾヤマザクラ」を中心とした植樹を計画的に行い、町の緑化推進を図るとともに百万本の桜を育てる会会員と子ども達との交流を深める事業として実施している。</p> <p><b>【実績】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>H13年度 50本</td> <td>H16年度 15本</td> </tr> <tr> <td>H14年度 30本</td> <td>H17年度 15本</td> </tr> <tr> <td>H15年度 15本</td> <td>H18年度 15本</td> </tr> </table> <p><b>【取り組み始めたきっかけ・活動を始めるまでの足跡】</b> 町の高齢者学級（フレッシュ大学）に学ぶ学級在学生在が、町の緑化推進への参加・協力を通じ、地域の活性化と町づくりの一環として「児童とその両親・高齢者とのつながりを持つ交流になれば・・・。」と考え、取り組み始めた。</p> <p><b>【活動・取組の特徴】</b> 「子ども達・両親・高齢者との貴重な交流の場」として、また、子ども達と共に木育を通じた活動を行うことから「生命と人との関わりを学ぶ場」として、今日の教育課題の解決に資する内容となっている。 高齢者が町教育委員会・学校との連携のもと、組織的・計画的かつ継続的に子ども達の将来に夢を持たせようと取り組んでおり、豊かな心を育てる良い機会となっている。 百万本の桜を育てる会が、きもべつ青年交流セミナー・町商工会など各種団体の協力を得て活動していることから、地域の活性化として期待できる事業である。</p>			H13年度 50本	H16年度 15本	H14年度 30本	H17年度 15本	H15年度 15本	H18年度 15本
	H13年度 50本	H16年度 15本							
	H14年度 30本	H17年度 15本							
	H15年度 15本	H18年度 15本							
期待できる効果 (自己評価)	五感や創造性を高める		森や木に関する知識をつける・高める						
	協調性や社会性を育む		森や木を通じた地域の活性化を図る						
	運動能力の発達を促す		木の文化や技術を伝える・つくる						
	生命と自分とのつながりに気づく		つくり手・買い手・使い手をつなぐ						
	その他( )		その他( )						
取組主体	企画者または主催者名	百万本の桜を育てる会 喜茂別町国土緑化推進委員会							
	参加者(参集範囲)	乳幼児 / <input type="checkbox"/> 未就学児童 / 小・中学生 <input type="checkbox"/> 大人(高校生以上) / 高齢者 / <input type="checkbox"/> その他(児童の親)							
参加者の募集	あ る / <input type="checkbox"/> な し								
HPアドレス・連絡先(担当者)	喜茂別町産業振興課林務耕地区 TEL 0136-33-2211 FAX 0136-33-3577 E-mail rinmu@town.kimobetsu.hokkaido.jp URL http://www.town.kimobetsu.hokkaido.jp/								

百万本の桜を育てる会植樹祭「環境緑化推進事業」



## 学舎の森推進事業（後志支庁独自事業）

具体的内容	<p><b>【概要】</b>          次代を担う小中学生を対象とした、森づくりについての理解及び参加・協力を推進することを目的に「学校林」や「公有林」などを活用した森林教室の内容及び開催方法を検討し、モデル的に実施した。          また、森林教室を総合的学習の一環として定着させるため、実施結果に基づいたマニュアルを作成し、各教育機関などに配布し普及啓発を行う。</p> <p><b>【実績】</b>          H16 「学校林」を有する2校（蘭越町立三和小学校・蘭越町立御成小学校）          H17 「学校林」を有する2校（蘭越町立蘭越中学校・留寿都町立留寿都小学校）          H18 「公有林」を活用した3校（真狩町立真狩小学校・真狩町立御保内小学校・古平町立古平小学校）</p> <p><b>【取り組み始めたきっかけ・活動を始めるまでの足跡】</b>          学校林を有する小中学校及び各市町村村林務担当との打ち合わせの中で、「学校林」の有効活用の要望があり、検討した結果支庁独自事業として行うことになったものである。</p> <p><b>【活動・取組の特徴】</b>          「学校林」「公有林」の森林状況・野生動物等の現地調査を行い、講師（樹木医）による森林の生い立ち及び森林調査等の森林教室を実施。          上記、ノウハウをマニュアルにし、各教育機関に配布を行う。</p>		
	期待できる効果（自己評価）	五感や創造性を高める 協調性や社会性を育む 運動能力の発達を促す 生命と自分とのつながりに気づく その他（ ）	森や木に関する知識をつける・高める 森や木を通じた地域の活性化を図る 木の文化や技術を伝える・つくる つくり手・買い手・使い手をつなぐ その他（ ）
取組主体	企画者または主催者名	後志支庁産業振興部林務課	
	参加者（参集範囲）	乳幼児 / 未就学児童 / <input type="checkbox"/> 小・中学生 大人（高校生以上） / 高齢者 / その他（ ）	
参加者の募集	<input type="checkbox"/> あ る / <input type="checkbox"/> な し		
HPアドレス・連絡先（担当者）	後志支庁産業振興部林務課 TEL：0136-23-1386 FAX：0136-22-0906		



## 森の幼稚園

### 【概要】

しもかわ森林療法協議会は、町民の健康づくりや都市住民への保養を促進するため、産・学・官の協働のもと、森林を活用した森林療法の研究、実践を行っている。

その取組みの一環として実施している森の幼稚園は、子どもたちが森や自然に触れ、感じることで、幼少期における意識や感覚を育て、健やかな心身を育むため、幼保一元化の施設である下川町幼児センター（未就学児）の子どもたちを対象に、森とふれあえる場をつくっている。

### 【実績】

平成18年5月 下川町班溪 体験の森で実施  
 平成18年7月 下川町西町 桜ヶ丘公園（万里長城）  
 平成18年8月 下川町班溪 体験の森で実施  
 平成18年9月 下川町西町 桜ヶ丘公園（万里長城）

### 【活動・取組の特徴】

森に遠足に出かけ、ゲームや宝探しなどを行う森の幼稚園は、子どもたちの興味のある遊びをすることで、子どもたちに様々な情報や刺激を与え、自然や環境に対する意識、感覚などを育むほか、子どものコミュニケーションの向上に役立っている。

活動には、NPO 法人森の生活のメンバーが協力し、森に関する様々な知識を子どもたちに伝えている。

### 具体的内容

### 期待できる効果 （自己評価）

五感や創造性を高める		森や木に関する知識をつける・高める	
協調性や社会性を育む		森や木を通じた地域の活性化を図る	
運動能力の発達を促す		木の文化や技術を伝える・つくる	
生命と自分とのつながりに気づく		つくり手・買い手・使い手をつなぐ	
その他（地域の特性を知る）		その他（ ）	

### 取組主体

#### 企画者または主催者名

しもかわ森林療法協議会

#### 参加者（参集範囲）

乳幼児 / 未就学児童 / 小・中学生  
 大人（高校生以上） / 高齢者 / その他（ ）

### 参加者の募集

あ る / な し

下川町幼児センターの子どもたちを対象に実施

### HPアドレス・連絡先（担当者）

下川町幼児センター（北海道上川郡下川町南町411番地）  
 Tel : 01655-4-2413  
 Fax : 01655-4-2576

## るもい森づくり塾推進事業

### 【概要】

留萌支庁林務課と留萌森づくりセンターでは平成18～20年度の3年間、「るもい森づくり塾推進事業」を実施する予定です。

「森づくり塾」は、小学校中学年（3年生）以上の親子や個人を対象として、除伐・枝打ち等の育林作業を行う{森づくり育林体験}と、森に関する講話やネイチャーゲームなどを行う{森の講習会}の2つで構成されています。

### 【実績】

H18：留萌南部地域（6/25 留萌市内で実施済、参加者21名  
10/22 留萌市内で実施予定）

H19：留萌中部地域で2回実施予定

H20：留萌北部地域で2回実施予定

### 【取り組み始めたきっかけ・活動を始めるまでの足跡】

留萌支庁では平成9年に「オロロンライン100年植樹基本計画」を策定し、管内の苗木づくりから植樹活動に至るみどりづくりを展開してきましたが、植樹後の森林整備についての認識が不十分であり、地域住民による取組もあまり見られない現状にあります。

そこで、「森づくり」の重要性を啓発すると同時に、地域の自主的活動の中核となる団体の育成を支援するため、「るもい森づくり塾推進事業」を実施することとしました。

### 【活動・取組の特徴】

平成18年春に実施した「森づくり塾」には小学生を含む21名の参加をいただきました。{森づくり育林体験}では、まず手鋸、長鋸を使っての枝打ち作業を行い、多くの参加者は鋸を持つのが初めてでしたが、みなさん真剣に取り組んでいただき1時間ほどの作業が終了する頃には、木々の間から日差しが差し込んでくるようになりました。

次の{森の講習会}では、樹木の名前や高さなどをクイズ形式で出題し、参加者に森について考えていただきました。その後、除間伐した枝を活用した【バードコール】の作成を行いました。参加者には大変、好評で楽しみながら木や森について学んでいただけたと思います。

今回の事業の実施にあたっては、地域の森づくりのボランティア団体である【るもい森林サポーター'Sクラブ】のご協力をいただきました。今後は、管内各地で地域の森づくりのボランティア活動の中核を担う団体が多数となり、地域の森林整備が進むことが期待されます。

## 具体的内容

### 期待できる効果 (自己評価)

五感や創造性を高める		森や木に関する知識をつける・高める	
協調性や社会性を育む		森や木を通じた地域の活性化を図る	
運動能力の発達を促す		木の文化や技術を伝える・つくる	
生命と自分とのつながりに気づく		つくり手・買い手・使い手をつなぐ	
その他( )		その他( )	

### 取組主体

#### 企画者または主催者名

留萌支庁林務課、留萌森づくりセンター

#### 参加者(参集範囲)

乳幼児 / 未就学児童 /  小・中学生

大人(高校生以上) /  高齢者 / その他( )

### 参加者の募集

ある / なし

事業実施の1ヶ月前くらいから、広く地域住民の参加を公募

### HPアドレス・連絡先(担当者)

北海道留萌支庁産業振興部林務課主査(みどり)

TEL: 0164-42-8464

FAX: 0164-42-0276

## 森林作業体験ツアー

具体的内容	<p><b>【概要】</b> 北海道宗谷支庁では、平成17年9月に「森林作業体験ツアー」を実施しました。これは、稚内市内で製材工場の見学、手鋸での森林作業体験、木工品の製作を行う日帰りツアーです。</p> <p><b>【実績】</b> 実施回数 1回 参加人数 30名(大人24名、小人6名)</p> <p><b>【取り組み始めたきっかけ・活動を始めるまでの足跡】</b> 一般の方に森林に対する理解を深めてもらうために企画しました。木とふれあい、木材を使って実際にものづくりをしてもらうことにより、人と、木や森との関わりを考えてもらうきっかけになるよう、ツアーを開催しました。</p> <p><b>【活動・取組の特徴】</b> 製材工場の見学では、地元で伐られた大きな丸太が鋸によって挽かれる様子を目の当たりにして、木材の生まれ変わる姿が印象に残ったと思います。身近に使っている木製品もいろんな過程を踏んで造られ、道産の木材に対し愛着をもってもらえたと思います。 森林作業体験では、手鋸で枝打ちと伐採体験をしました。普段、森林に行くことのない一般の方も、実際に森林へ行き作業を行うことで、森林とそれを育てていくための作業の大切さがわかってもらえたことと思います。森林作業体験は、いざ始めてみると楽しく夢中になって作業をする人が多かったようです。森林へ行き作業をすることで、気分もすがすがしくなったと思います。 木工品製作体験では、地元の木材を使って、木製ラックの製作と板と木の実や小枝を使った標板づくりを行いました。実際に木にふれて、自らものをつくってみて、木に対して親しみを持ったと思います。 「木育」の普及はまだまだはじまったばかりです。一般の方が森林や木材に関心をもってもらい、木にふれあってもらい、自主的な活動の輪が広がることを望むところです。</p>																				
	期待できる効果 (自己評価)	<table border="1"> <tr> <td>五感や創造性を高める</td> <td></td> <td>森や木に関する知識をつける・高める</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協調性や社会性を育む</td> <td></td> <td>森や木を通じた地域の活性化を図る</td> <td></td> </tr> <tr> <td>運動能力の発達を促す</td> <td></td> <td>木の文化や技術を伝える・つくる</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生命と自分とのつながりに気づく</td> <td></td> <td>つくり手・買い手・使い手をつなぐ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他( )</td> <td></td> <td>その他( )</td> <td></td> </tr> </table>	五感や創造性を高める		森や木に関する知識をつける・高める		協調性や社会性を育む		森や木を通じた地域の活性化を図る		運動能力の発達を促す		木の文化や技術を伝える・つくる		生命と自分とのつながりに気づく		つくり手・買い手・使い手をつなぐ		その他( )		その他( )
五感や創造性を高める		森や木に関する知識をつける・高める																			
協調性や社会性を育む		森や木を通じた地域の活性化を図る																			
運動能力の発達を促す		木の文化や技術を伝える・つくる																			
生命と自分とのつながりに気づく		つくり手・買い手・使い手をつなぐ																			
その他( )		その他( )																			
取組主体	企画者または主催者名	北海道宗谷支庁																			
	参加者(参集範囲)	乳幼児 / <input type="checkbox"/> 未就学児童 / <input type="checkbox"/> 小・中学生 <input type="checkbox"/> 大人(高校生以上) / <input type="checkbox"/> 高齢者 / その他( )																			
参加者の募集	あ る / <input type="checkbox"/> な し																				
HPアドレス・連絡先(担当者)	北海道宗谷支庁産業振興部林務課 TEL : 0162-33-2934 FAX : 0162-33-2630 E-mail : soya.rinmu20@pref.hokkaido.lg.jp URL : http://www.souya.pref.hokkaido.lg.jp/ss/rnm/index																				

## 森林作業体験ツアー



森林作業体験



木工作品製作体験



森林作業体験ツアー参加者